



「心のものさし」を活用して授業を活性化する



心の中を表現する

ぼくは、ブルーな気持ちです。
わけは、うそをついてしまった
からです。

わたしの気持ちを発表します。
わたしは……。わけは、……。



4年『正直』五十円分～正直に生きる～

葛藤場面などで、微妙な心の中や、心の変化をピンクとブルーの部分で自由にスライドできる「心のものさし（ハート型）」を使って表現する。また、判断の結論を左右に明示した「心のものさし（数直線型）」に、自分の思いや考え、立場をネームプレート等で決め、表現する。

心のものさしを活用する

それぞれの考え方は
どうかな？

みんなの心の中はどこ？
心のものさしで表そう。



心の中にある2つ
の思いを考えよう



5年 ふくらんだリュックサック
～公共の場を気持ちよく～

例えば、「主人公の心の中は、どうか。」と問いかけ「心のものさし」を使って表現する。また、「どう変わったか。」と問いかけ「心のものさし」を動かせることで、授業が活性化する。